

## 諮 問

稲敷市学校及び幼稚園適正配置検討委員会会長

堀 口 正 良 殿

稲敷市学校及び幼稚園適正配置検討委員会規則第2条により、次に掲げる事項について  
検討のうえ、提言頂きたく、別紙理由を添えて諮問いたします。

( 諮問事項 )

稲敷市学校及び幼稚園の適正配置の基本的考え方について

平成19年8月22日

稲敷市教育委員会教育長 小 川 孝

## 諮問理由

### 1 趣 旨

稲敷市内の公立小中学校・幼稚園は、平成19年度現在、小学校16校、中学校4校幼稚園5園が存在しております。児童数は全小学校で2,470名弱、生徒数は全中学校で1,482名余りであり、児童生徒数は20年程前から徐々に減少し続けております。

現在までに、少子化傾向は加速し、学級数の減少する学校や複式学級になる学校が増えてきており、稲敷市教育委員会では、学校のIT化や学習指導要領改訂に伴う教育環境整備に取り組んできたが、少子化問題のほか、通学区に関する課題、校舎などの施設設備の経年劣化問題などを抱え、質の高い教育を推進するうえで抜本的な施策の改革の必要性を感じていたわけであります。

検討委員会では、学校及び幼稚園経営の効率化だけでなく、特色ある学校づくり、子どもたちにとってより充実した教育環境の提供、保護者の学校選択機会の拡大、学校規模や地域との関わりなどを総合的に議論して頂き、さらに検討委員会では、市民アンケートを実施するなど、広く市民の意識や意見を探るとともに、これまでの稲敷市立学校及び幼稚園の現状をふまえ、今後の小中学校・幼稚園のあり方について検討していくものとする。最終的には、検討内容をまとめ、稲敷市教育委員会に対し、今後の基本的な考え方を提言いただきたいと存じます。

### 2 検討事項

#### (1) 学校及び幼稚園適正配置のあり方について

「子どもの教育環境」「学校運営と指導体制」等の視点から「適正規模」及び「学校配置」について、検討をお願いいたします。

#### (2) 学校及び幼稚園適正配置の取り組み方について

新たな学校及び幼稚園適正配置のあり方を踏まえて、どのように学校及び幼稚園適正配置を進めていくべきか、条件整備を含め「取り組み方策」について、検討をお願いいたします。